

<b>授業科目</b>  倫理学	<b>区分・教育内容</b>  基礎分野 科学的思考の基盤		
<b>授業担当者</b>  鈴木 祐丞 (秋田県立大学総合科学教育研究センター)	<b>開講時期</b>  中期	<b>単位</b>  1 単位	<b>時間数</b>  15 時間
<b>授業の目的</b> 医療に関係する場面で現れる倫理的問題（善悪に関わる問題）に向き合う。  <b>授業の目標</b> 生命倫理、医療倫理などにおいて議論される問題をいくつか取り上げ、それぞれについて、知識を整理したうえで、善悪のありかを共に考察する。			
<b>授業概要</b> 現代では、生命工学や医療技術の進歩により、かつて存在しなかった倫理的問題が形をとるようになり、医療従事者はそれらに合うことを余儀なくされている。それらについて、看護職者としての倫理原則（自律の尊重など）を念頭に置きながらも、ひとりの人間として自由に、そして深く考えてもらいたい。  <b>授業計画(進め方)</b> 1 回目 授業についての説明／倫理（学）とは何か／骨髄バンクのドナー登録をめぐって（1） 2 回目 骨髄バンクのドナー登録をめぐって（2） 3 回目 （新型）出生前診断と、選択的人工妊娠中絶（1） 4 回目 （新型）出生前診断と、選択的人工妊娠中絶（2） 5 回目 コロナ渦と人間の自由 6 回目 ジェンダー論と医療現場 7 回目 安楽死・幫助自殺（1） 8 回目 安楽死・幫助自殺（2）			
<b>テキスト</b> レジュメと資料を配布する。			
<b>参考書・指定図書</b> 参考書：赤林朗編『入門・医療倫理 I（改訂版）』、勁草書房、2017 年			
<b>評価の方法</b> ・出席状況・受講態度など 30% ・小レポート（授業内容を理解した上で、自分の考えを展開できているか） 70%			